

K-ARCシンポジウム2019

社会実装を目指す高専との革新的イノベーションネットワーク

産学官連携だからこそできる研究・
目指す研究・求める高専生像

参加費
無料

2019年 **11月15日**（金） 13:00～17:00

鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール
（山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2）

基調講演 1
13:10～

【大学院・大学と高専の協調について】

東北大学 多元物質科学研究所
ナノ・マイクロ計測化学研究分野 教授 火原 彰秀 氏

基調講演 2
14:10～

【分子科学研究所の研究と教育～高専出身者の活躍と今後の高専との連携～】

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 准教授／
総合研究大学院大学 構造分子科学専攻 准教授 小林 玄器 氏

15:10～15:30 質疑応答

一般講演
15:30～

【Multidisciplinary research に基づく燃料電池材料研究 ～知識と組織のネットワークを活用したState-of-the-art fuel cell の創製をめざして～】

国立研究開発法人 物質・材料研究機構(NIMS)
上席研究員 森 利之 氏

事例発表

- 16:05～16:30 「高専教員がK-ARCに期待すること～高専と連携してもらうための考案～」
仙台高等専門学校(名取キャンパス) 准教授 熊谷 進
- 16:30～16:55 「高専教員の他機関への出向を通じた連携について
～物質・材料研究機構(NIMS)とSpiber株式会社における事例紹介～」
鶴岡工業高等専門学校 教授 森永 隆志
- 16:55～17:00 閉会挨拶

<会場ご案内>



お問合せ
お申込み

鶴岡工業高等専門学校 総務課 企画・連携係
TEL: 0235-25-9159 FAX: 0235-24-1840
E-mail: kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp

講演概要

【基調講演 1】 大学院・大学と高専の協調について

東北大学多元物質科学研究所 ナノ・マイクロ計測化学研究分野
教授 火原 彰秀（ひばら あきひで） 氏

.....

大学院は、問題解決能力や課題発見能力など養うため、世界と切り結ぶ最先端研究活動の中に身を置いて学習する場として最適である。
高専専攻科から研究職を目指す学生が、スムーズに大学院での活動に入れるように大学院・大学側としても協調のやり方を考えていきたい。

【基調講演 2】 分子科学研究所の研究と教育 ～高専出身者の活躍と今後の高専との連携～

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所
准教授 小林 玄器（こばやし げんき） 氏

.....

分子科学研究所は、物質の基本構成単位である分子に対する体系的な理解を確立し、物質が示す多種多彩な現象を解き明かすことを目指した分子科学の中核的研究拠点である。一方で、所属する教授、准教授、助教は総合研究大学院大学（総研大）の教員を担当しており、大学院教育機関としての役割も担っている。
最先端の研究設備の中で学生が研究員や技術職員と連携しながら研究に従事し、教員からきめ細やかな指導が受けられることが分子研における教育の特色である。
本講演では当研究所における大学院教育を説明すると共に、高専出身の総研大生の活躍を紹介し、専攻科修了後のキャリアパスとしての可能性について議論したい。

申込締切
11/11(月)

K-ARCシンポジウム2019 参加申込書

社会実装を目指す高専との革新的イノベーションネットワーク

鶴岡高専 総務課 企画・連携係 行

FAX:0235-24-1840

申込日 / 令和 年 月 日

氏名	フリガナ	電話番号	
E-Mail			
ご住所	〒		
お勤め先 (学校名)		お役職 (学年)	